

題字 峯松 愛 さん

第92号

2015年6月25日発行

高槻ライフケア協会

すみびらき  
住開き—井高野よってっ亭由来記

井高野よってっ亭亭主 榎木眞吉

まずはウィキペディアから。住開きについて、そこにはこう説明されています。「住居や事務所といったプライベートな空間を限定的に開放することによって、セミパブリック化させる活動や運動、またそのような使われ方をする拠点のこと」。この言葉を初めて知ったのは、竹村安子さんの講演でした。

井高野よってっ亭は、築48年の民家を借りて平成22年5月に開設しましたが、その運営の過程で常に念頭にあったのは、竹村さんのこの言葉だったように思います。

よってっ亭のある井高野は、大阪市内でも高齢化率がかなり高く、しかも女性の独居高齢者がきわめて多い地域です。毎週日曜日と火曜日にはボランティア・カフェを2～4時間ほど開催していますが、日曜日は常時20人弱のゲストを迎え大盛況です。しかもそのほとんどが女性の独居高齢者です。80歳前後の方々ばかりですが、それはもう元気元気。上は政治の話から、下は身近瑣事にいたるまで、かしましいことこの上ありません。

ですが、それと同時に、地域の課題解決のための大変な情報源になっていることも事実です。

ある時、こんなことがありました。毎週日曜日に欠かさずカフェに来られるゲストさんが、たまたま休まれたことがあって、ある方が、帰りにちよっと見てくるわと、その方のお宅に立ち寄られたのです。そうするとあに図らんや、2日前から圧迫骨折で身動きもならず、床の上で毛布だけを被って横になっておられたそうです。即座に連絡が入り、とりあえずその日は近隣のお仲間の援助で何とかしのぎ、次の日には地域包括の職員が駆けつけて、ヘルパーさんが入り、家事援助や通院介助に漕ぎつけ、福祉用具のレンタルも加えて、どうにかこうにか生活が再建されて、1か月半ほどして、お仲間の介助を得て、ふたたび日曜日のボランティア・カフェに参加されるようになりました。今ではすっかり元気になられて、相変わらずかしましい話の輪の一人になっておられます。

竹村さんの言われたように、「住開き」が

持つ安否確認の絶大な効果が実証されると同時に、自助と共助、互助、公助が見事に連携したケースでした。

またこういう事例もあります。地域包括の職員さんから、自分の抱えているケースで、80代の男性が、最近奥さんを亡くされて、すっかり気力を失い、自暴自棄で飲酒と喫煙が目にも余るものになっている方がいるという相談です。聞くと、10数年前から、奥さんの介護のかたわら、書道に精進され、知事賞をもらったほどの腕前だそうです。

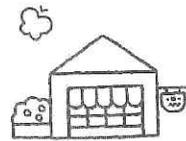
さっそくよって亭で書道教室を開催することとし、地域包括の職員さんが、ポスターを作って地域に配布してくれたり、地域の方の声かけをしてくれたりして、何人かのお弟子さんも集まり、そのままもう5年が経過しています。その間に、何度か入院もされましたが、その都度、それこそ奇跡の復活で、短期間に退院され、今なお元気に教授されています。

そればかりではありません。幼稚園児のお母さんたちが、教室の話聞きつけて、

自分たちの子供にも書道を教えてほしいとの申し込みがありました。最初は4人だったのが、今は8人にまで増えています。先生も、子供の成長が楽しみらしく、断酒・禁煙もされ、昔のことは忘れたように、今では健康にも気をつけられるようになっています。

その昔、竹内孝仁先生の講義で「地域にはケアする力がある」と言われたのが、未だに耳に残っていますが、こうしたことも、一つのケアの在り方ではないでしょうか。

この他にも、一時期、若年認知症の方に喫茶室のマスターをしてもらったり、若いフランス人がパンづくりをしてくれて、地域のおばさま方の注目の的になったり、うつ病の方がボランティア・カフェで症状が軽減したり、それなりに面白いエピソードが多々ありますが、小規模多機能施設あすなろにも、地域交流スペースができたと聞きます。そこにどんなドラマが生まれるか、ボランティア・カフェの一亭主として、大いに期待せざるをえません。



## ご協力に感謝します

2015年4月1日～2015年5月31（敬称略・順不同）

### <社会福祉法人>

◇寄附金 累計 2,315,000円

石神互、為ヶ谷奈穂美、毛戸利彦、實島けい子、太田堅志、野口直美、土井景子、古井ひとみ、下村真理子、小林フジ子、森本美奈子、服部章子、下山節庫、安達晴美、古元美枝子、松倉弘枝、三俣玲子、宮脇郁子、江上広美、植田旬子、高橋郁子、高野孝、赤松裕子、丸岡トシミ、市川あや子、

轟木悟、松田奈々絵、柿原寛子、波多野義夫、高峯景子、牧口明、椙上利男、乾好孝。

◇寄贈 山縣弘美、松倉弘枝、武林めぐみ、武谷利子。

◎社会福祉法人高槻ライフケア協会への寄附金は、確定申告の際、税額控除制度の適用を受けることができます。

## サービス提供実績報告

## ◎社会福祉法人



《訪問介護》	2015年4月～5月	2014年度合計
利用件数	2,170 件	14,080 件
利用時間	1,769.96 時間	11,496.92 時間
生活援助	1,044.14 時間	7,002.75 時間
身体介護	725.82 時間	4,494.17 時間

《介護予防訪問介護》		
利用件数	653 件	3,533 件
利用時間	656.5 時間	3,549.40 時間

《障害福祉・居宅介護》	2015年4月～5月	2014年度合計
利用件数	1,866 件	11,273 件
利用時間	1,894.00 時間	11,336.45 時間
家事援助	764.50 時間	4,209.70 時間
身体介護	1,000.50 時間	6,084.75 時間
通院介助	129.00 時間	1,042.00 時間

《重度訪問介護》	2015年4月～5月	2014年度合計
利用件数	101 件	298 件
利用時間	183.5 時間	1,127.50 時間

《同行援護》	2015年4月～5月	2014年度合計
利用件数	198 件	1,102 件
利用時間	394.0 時間	2,182.00 時間

《移動支援》	2015年4月～5月	2014年度合計
利用件数	453 件	2,925 件
利用時間	1,289.0 時間	7,798.0 時間

《ケアワーカー派遣サービス》	2015年4月～5月	2014年度合計
利用件数	266 件	1,736 件
利用時間	303.0 時間	1,835.5 時間
家事援助	148.0 時間	1,021.0 時間
身辺ケア	26.0 時間	159.0 時間
社会的援助	129.0 時間	655.5 時間

## ◎特定非営利活動法人

《福祉移送サービス》	2015年4月～5月	2014年度合計
利用件数	14 件	91 件
利用時間	880.0 分	5,261 分
利用距離	276.0 km	1,705 km

## 事業所だより

5月のデイサービス周辺には、花桃、花みずき、シバ桜といろいろな花が見られました。外気浴と運動を兼ねて散歩に出かけた公園では、曾孫ほどの子どもに「歳いくつ？何してるの？」と話しかけるほほえましい場面も見られました。

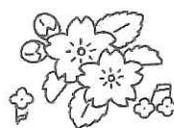
暑くなってきた最近、午後から和室で足を伸ばしてリラックスする時間を設けています。テレビで見たニュース、食べ物や人気

## 訪問介護

在宅酸素の必要な T さんは、奥様と二人暮らし。半年前より奥様に介護が欠かせなくなり、T さんは過労から入院となりました。退院後について、一度は在宅生活を諦めかけた T さんでしたが、やはり、これまで通り自宅で一緒に暮らしていきたいという思いは強く、周囲の関係者も二人の気持ちを尊重しようと支援体制を整え、退院の日を迎えました。

のお店の話に花を咲かせながら、両手足の屈伸をしたり、手のひらで自分の体を軽くマッサージしたりしています。

背中を壁に押し付けるようにして、前屈姿勢を自力で治そうとしている M さんに、「そうするとよく顔が見える。頑張れ」と皆さんから励ましの声がかかりました。



今では T さんの体調も少しずつ安定し、ケアワーカーが訪問すると、ベッドに横になっている T さんの傍らで奥様も一緒にテレビを見ている姿を見かけます。

奥様は夫に見守られながら、洗濯物を干したり台所の洗い物をされています。ご家族や医療・介護の支援を受けながら、二人三脚、助け合って穏やかに過ごしておられます。

## くらし創造の家 朋 (とも) 小規模多機能型居宅介護

健康維持のため、毎日、午前と午後にはリハビリ体操をしています。午前は、ラジオ体操で利用者の「1・2・3・4……」の声が部屋中響きわたり、元気にスタートしていきます。指や手、腕など上半身の運動をしたあとは、食事にむせたり喉を詰まらせたりしないように、口腔体操も実施しています。運動するのが好きで自宅でもよく身体を動かしている O さんは、「私はこの体操が一番好きなの」と

元気に参加されています。

午後は、下半身の筋力維持の体操です。少しでも長く自分の足で歩けるよう、また、転倒防止にと行っています。

両方ともに深呼吸を大切にしています。新鮮な空気を吸い込み、酸素を吸収し古い空気を吐き出す深呼吸は、手足の不自由な方でもできる健康法です。



## くらし創造の家 朋(とも) 生活介護



近くの筒井池公園に、手作りのおやつを持参し花見に行きました。池のほとりに咲きだれ桜をバックに写真撮影しました。「外で食べるといつもよりおいしいわ」とUさんが言えば、Hさんは「花より団子だね～」と冗談を返し、会話が弾みました。

母の日のカード作り、こいのぼりやあじさいの貼り絵の展示と、創作活動も盛りだくさんでした。

プランターで、皆でラディッシュとミニトマトの栽培をしています。成長が楽しみで、収穫を心待ちにしています。

## あすなろ 小規模多機能型居宅介護

あすなろが4月にオープンし、6名の方がご利用されています。あすなろの1階フロアからは、隣の公園の木々や、阿武山の景色が望めます。

利用者のTさんは「おお、えらい木が揺れてますな」と風が強いことを目で感じられます。Hさんは「野球の練習しに来てる」と夕

方、壁に向かって投球練習する人を見ていました。天気の良い日には、園児が遊びに来て歓声が聞こえ、Sさんは「今日は賑やかな。子どもの声がするわ」と眺めていました。皆、時々外の景色を見ては、いろいろなことに思いをはせておられます。



## 訃報 田中喜代子様を偲ぶ

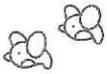
ケアワーカー 服部章子

20年余に亘り高槻ライフケア協会の介護サービスを利用されていた田中喜代子様が、5月28日、88歳で永眠されました。

田中喜代子さんとの出会いは、入院先の高槻病院のご紹介でした。脳梗塞で右半身マヒの夫と、喜代子さんは左半身マヒと言語障害がありました。当時高槻ライフケア協会は、非営利有償サービスであるケアワーカー派遣サービスをスタートして日も浅く、この事業に関心を寄せていただいた医療ソーシャルワーカーのご尽力によるものでした。幸いにも、ヘルパー経験を有するコーディネーターから指導助言を受けながら、おふたりの生活支援の援助が始まり、田中様ご夫婦も温かくケアワーカーを受け入れてくださいました。

7年前夫を見送るまで、自身も不自由な身体で、ケアワーカーの力を借りながらよく尽くされました。その後、独居で自らも段々体調が低下し不安な中、ケアも1日3回と増えましたが、自分でできることは自分でしたいとの姿勢をつらぬき通されました。ケアワーカーが訪問すると、いつも「ありがとう」とねぎらってくださいました。就寝ケアを終え、帰るのをためらっているケアワーカーには「私は大丈夫よ。ありがとう。おやすみ」と言ってくださった笑顔が思い浮びます。

実習生や新しいケアワーカーも気持ちよく迎えて下さり、人生の先輩としても田中さんから多くのことを学び、沢山のケアワーカーを育てていただきました。ありがとうございました。心より、ご冥福をお祈りいたします。



## 2014(平成26)年度 事業報告

社会福祉法人 高槻ライフケア協会

### I 法人、事業運営の総括

高槻ライフケア協会は、2014年度地域密着型サービス事業者の小規模多機能型居宅介護“あすなろ”で応募し決定を受け、8名の新規採用、地域交流センターは地域住民の運営委員会を組織しました。建築補助金及び独立行政法人福祉医療機構借入は次年度の入金と資金的に厳しい環境です。

現在、150名の人材を擁し、人材育成を鋭意すすめていますが、2～3年先を見通した事業運営など問題意識を有する管理者等幹部職員の育成が新たな課題になっています。事業収支は、居宅介護支援事業の黒字転換と多くの事業が順調に推移しました。老人デイサービスは地域への働きかけが課題です。

### II 法人本部 事業報告

- 1、小規模多機能型居宅介護“あすなろ”事業運営に借地65坪を日吉台1番町に確保、松材を床等に使用した木造2階建を建設しました。
- 2、新任職員対象の5週間の事業所実習を実施しました。
- 3、処遇改善加算を原資に、一時金を延199名に支給しました。
- 4、税額控除法人の寄附金に145名4,059,000円の協力がありました。
- 5、理事会・評議員会の開催

第48回理事会・第42回評議員会 5月

2013(平成25)年度事業報告・決算報告・監査報告

第49回理事会・第43回評議員会 8月

“あすなろ”設置整備と事業計画、建築設計及び施工監理事業者の選任、入札参加業者募集の公告

第50回理事会・第44回評議員会 10月

新築工事入札参加業者選定と現場説明会、入札予定価格の事前公表

第51回理事会・第45回評議員会 11月

2014(平成26)年度上半期事業報告・補正予算案、新築工事入札結果、独立行政法人福祉医療機構に借入金申請

第52回理事会・第46回評議員会 2015年3月

2015(平成27)年度事業計画案・資金収支等予算案、  
新会計基準の経理規程改正案、  
小規模多機能型居宅介護“あすなろ”の建物登記



## 社会福祉法人高槻ライフケア協会 2014年度決算報告書

## 事業収支計算書



収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
介護保険事業	126,372,919	人件費	219,929,719
障害福祉サービス	99,815,024	事務費	23,387,187
移動支援	17,840,815	事業費	14,100,148
公益事業	19,318,166	減価償却費	5,016,542
補助金	32,243,200	借入金利息	438,275
処遇改善加算	11,968,443	当期活動収支差額	49,268,751
特定事業所加算返金	△3,799,592		
寄附金	4,064,000		
国庫補助金等特別積立金取崩額	1,712,727		
受取利息	7,929		
雑収入	2,596,991		
合 計	312,140,622	合 計	312,140,622

## 貸借対照表

2015年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産	133,719,035	流動負債	36,785,777
現金	42,696	未払金	34,842,181
普通預金	43,968,338	預り金	653,806
定期預金	10,300,000	前受金	892,500
未収金	74,541,899	仮受金	397,290
立替金	4,696,782	固定負債	45,360,000
前払金	30,840	設備資金借入金	10,724,000
仮払金	138,480	その他の運営資金借入金	34,636,000
固定資産	184,987,330	負債の合計	82,145,777
基本財産	171,314,080	純資産の部	
建物	83,515,894	基本金	10,000,000
土地	87,798,186	基本金	10,000,000
その他の固定資産	13,673,250	国庫補助金等特別積立金	12,067,494
建物	8,966,514	次期繰越活動収支差額	214,493,094
車輛運搬具	682,700	次期繰越活動収支差額 (うち当期活動収支差額)	214,493,094 (49,268,751)
器具及び備品	2,163,036	純資産の部合計	236,560,588
権利	1,858,000		
投資有価証券	3,000		
資産の部合計	318,706,365	負債及び純資産の部合計	318,706,365



## 第8回 朋(とも)春の交流会 開催



『くらし創造の家 朋(とも) 春の交流会』を、4月1日(水)に開催しました。あいにくの雨模様でしたが、朝早くからボランティアの皆さんのご協力で、恒例の餅つきの準備が始まりました。

つきあがったお餅は、白餅、あんこ餅、よもぎ餅と色とりどりに加工され、売場に並べられました。10時の開場には、つくたて餅やバザーの掘出し物を楽しみにして下さる地域の皆さんが多数ご来場くださいまし

た。

午後は、2階の多目的室でお楽しみ会。新舞踊や地元のコーラスグループによる合唱を堪能したあと、デイサービスの歌体操。「あ～それなのに」「きよしのソーラン節」などの曲に合わせて身体を動かしました。最後は、ピアノ伴奏にあわせ、大きな声で「青い山脈」「幸せなら手をたたこう」など懐メロを合唱し、楽しいひとときを過ごしました。

### ◎朋(とも)春の交流会への寄贈：(敬称略・順不同)

松井克己、三次弘子、木谷とみ江、阪本恵美子、川浪スエ子、市野身衣子、波多野和子、岩田由美子、川戸初子、武林めぐみ、田中静馬、森本菜摘、久良善子、岡本偉起子、谷口清子、栗山通子、森本美奈子、三俣玲子、矢倉里美、鈴木和代、田尻マユミ、岡田信志、岩佐信幸、地域生活支援センター光、小島由美子、富田健康を守る会、田中卓哉、檀薫、小谷陽子、大塚潔、古井ひとみ、江上広美、植田旬子、首藤有喜、松田耕治、大林匡子。



交流会の看板は、利用者の皆さんの力作

### 秋の日帰りバスツアーのお知らせ

後援会主催の恒例日帰りバスツアー、今年は9月27日(日)、伊勢を訪ねます。伊勢神宮内宮の門前町にあるおかげ横丁は、江戸から明治期の伊勢の様子が再現されている観光スポット。昼食はおかげ横丁の岩木屋でいただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

□ 集合 JA高槻本店前 午前8時

□ 参加費 7,000円



### 物品販売にご協力ください

□ コーヒー (豆、挽)

ブルマンとジャマイカのブレンド

1kg : 1,700円 500g : 850円

□ おとひめこんぶ

1袋 : 500円 (南北海道蝦夷華村の黒口浜一帯で育成された真昆布一年物です)

□ 島原手延べ素麺 眉山の糸

長崎県島原市の白山製麺製です。

1kg～5kg : 1,200円～5,300円

\*高槻市、茨木市、島本町、枚方市は送料無料で(その他の地域は実費)

社会福祉法人高槻ライフケア協会 特定非営利活動法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町5-7

〒569-0802 高槻市北園町4-19

TEL (072) 683-4945

TEL (072) 682-4119